

朝晩の冷え込みに、季節の移り変わりを感じます。寒暖の差が激しいので、お体にお気をつけください。

アグリ筑西



2017 11月号

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979



いばらき農業アカデミー「法人化促進講座」を開催 ～農業経営を法人化してみませんか～



結城地域農業改良普及センターにおいて、「法人化促進講座」が開催されました。この講座は、全4回開催され、中期的に法人化を検討している農業者の方を対象に、税理士等の専門家を講師として、法人化のメリットや手続き等について学びます。

第1回(9月11日)と第2回(9月25日)は、農業法人設立を専門に活動されている(税)鯨井会計の鯨井基司氏を講師に迎え「農業法人化の留意点」について学びました。第3回(10月2日)は、社会保険労務士の長瀬登紀子氏を講師に迎え「法人化する場合の労務管理の注意点」を中心に学びました。

参加した農業者からは、法人化を行うことによるメリットや社会保険等についての質問があり、法人化に向けて具体的なイメージを膨らませていました。

普及センターでは、「法人化促進講座」終了後には「専門家派遣事業」を紹介し、引き続き農業法人設立のための支援を行っていきます。農業経営の法人化に興味がある方は、普及センターまでお問い合わせください。



大地のめぐみ ほ場巡回勉強会を開催！！

秋晴れとなった10月3日、桜川市の農業後継者クラブ「大地のめぐみ」のクラブ員7名が、ほ場巡回勉強会を開催しました。大地のめぐみでは定期的に勉強会を開催し、各クラブ員のほ場や作業場の見学・情報交換を行うことで、お互いの技術力・経営力を高め合っています。当日は、施設野菜や普通作のほ場と作業場をクラブ員が案内・説明をしながら巡回しました。

クラブ員の栽培作物は、「普通作」「施設野菜」「花き」等色々ですが、日頃見ることのない作物やクラブ員の仕事の様子を見て、とても新鮮な印象を受けたようでした。また、巡回中にはハウスの構造や緑肥の導入効果、土地や雇用の確保について積極的に話し合う姿も見られ、各クラブ員が今後の自身の農業経営を考えるうえで大変有意義な時間となりました。

今後も普及センターでは、クラブ員の技術力・経営力向上のための活動を支援していきます。



青年農業士 抑制トマト巡回指導会を開催！！



筑西地域青年農業士連絡協議会では、10月5日に抑制トマトの巡回指導会を行いました。愛三種苗株式会社でトマトの台木品種の開発を行っている河本恵一氏を講師に迎え、協議会の吉野秀一会長と普及センターの担当者が抑制トマトの栽培を行っている会員の各ほ場を巡回しました。巡回では生育状況の確認を行い、これから収穫の終盤に向けた管理の注意点と来年以降に向けての反省点が話し合われました。各会員からも多くの質問が飛び、大変有意義な巡回指導会となりました。



普及センターでは今後も、青年農業士の活動を支援していきます。

！ 営農情報！！

イネ縞葉枯病対策～収穫後の管理～



来年のイネ縞葉枯病の発生を抑えるために、ウイルスを媒介するヒメトビウンカの生息密度を減らしましょう！

ひこばえはヒメトビウンカの生息地となるだけでなく、ウイルスの伝染源にもなるため、田んぼは早めに耕起しましょう！（土づくりの面でも望ましく、一石二鳥です。）

また、ヒメトビウンカの幼虫は、あぜや農道のイネ科雑草の中で越冬します。すみかとなる雑草を除去すれば、ヒメトビウンカは冬を越すことができず、来春の成虫数を減らすことができます。

冬の間でも枯れずに生育するイネ科雑草（例：写真）は除草剤でしっかり枯らせておきましょう！



この雑草（スズメノカタビラ）には要注意！！



ナシ黒星病対策～秋期防除と落葉処理～

ナシ黒星病菌は芽基部および落葉上で越冬し、翌年の発生源となります。そのため、来年の発生を抑えるには、**秋季防除と落葉処理**が重要となります。

葉に薄い墨を流したような模様の葉はありませんか？これは、黒星病の秋型病斑です。降雨があると、葉から芽基部に黒星病が感染するため、葉が8割落葉するまでしっかりと秋期防除を行いましょう。



黒星病秋型病斑



落葉上から孢子が飛散して直接感染します。



落葉からの黒星病感染

また、病斑の出ている葉が園地に残っていると、伝染源となるので、落葉を処理しましょう。伝染源を減らすことが防除の第一歩となります。落葉を集めて土中に埋めるのが基本ですが、園の端に寄せられて積み上がった落葉を集めて処理すると、園内の菌密度を大幅に減らすことができます。落葉処理は薬剤による防除と同等以上の効果が期待できるので、積極的に実施しましょう。

普及員のひとりごと ～佐藤元子～

今年の2月から育休代替職員として筑西普及センターに勤務しています。こちらにきて初めて秋の収穫期を迎え、秋空に黄金色に輝く稲穂と白く可憐な花を咲かせた蕎麦、彼岸花の赤色のコントラストがとても綺麗でした。来秋にまたこの景色を見るのがとても楽しみです。これからもよろしくお願いします。

編集後記

抑制トマトの収穫も終盤に差し掛かりました。私も多くの方のほ場を見させていただき、大変勉強になりました。今瀬

皆さまからのご意見・情報をお待ちしております。